

令和元年度東京都サービス管理責任者等研修検討会 活動報告

概要

サービス管理責任者研修及び児童発達支援管理責任者研修（以下「サービス管理責任者等研修」という。）を円滑かつ効果的に行えるよう、研修カリキュラム等について検討する。

【活動方針】

- ・「東京都のサービス提供事業所において障害児者の豊かな生活の実現に向けて取り組む現場のリーダーの姿」（以下「リーダーの姿」という。）に基づき、研修内容を検討する。
- ・令和元年度より実施する基礎研修、更新研修、フォローアップ研修で使用する教材を完成させるとともに内容を検証する。
- ・質の高い研修を継続して実施するため、次期講師の育成と講師間の関係作りを目的とした指導者養成研修を実施する。

【委員構成】

敬称略、五十音順

1	会田真一	(社福)ひらイルミナル	9	清水美代	(社福)正夢の会
2	秋谷直子	(社福)東京コロニー	10	鈴木誠	(社福)武蔵野
3	浅野日奈子	(社福)南風会	11	橋爪亮乃	(社福)さくらの園
4	犬飼知子	(NPO)ポップシップ	12	深澤恭代	足立区障がい福祉センター
5	奥秋征人	(社福)正夢の会	13	宮田理恵	(NPO)めぶき
6	久保玄	(社福)原町成年寮	14	山本俊爾	Parquet グループ
7	相良宏司	(社福)東京援護協会	15	吉川かおり	明星大学
8	三瓶善衛	(社福)あいのお福祉会			

【活動状況】

	日程	形式
第1回	5月20日	全体会
第2回	8月28日	全体会
第3回	10月7日	作業チーム
	10月11日	作業チーム
第4回	3月19日	※

※第4回は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止とした。

活動成果

① リーダーの姿の検討

わかりやすいものにするために内容を検討し、バージョンアップした。

② 研修プログラムの検討と教材作成

- ・「リーダーの姿」に基づき研修内容を検討し、基礎研修、更新研修、フォローアップ研修（児童分野）で使用する教材を完成させた。
- ・研修実施後に振り返り会を行い、講義及び演習内容の検証と教材の見直しを行った。

③ 講師の養成

- ・更新研修の講師が受講者の中から指導者候補を選び、指導者養成研修へ推薦する等の新たな推薦の枠組みを作って実施した（指導者養成研修修了者31名）。
- ・基礎研修の講師を養成するための指導者養成研修のプログラムを検討し、教材を作成した。
- ・基礎研修、更新研修の実施前に講師への説明会を実施した。

④ 国指導者養成研修への参加

令和元年6月12日から14日に行われた国指導者養成研修に検討会委員4名が参加。情報を収集し、都研修のプログラムに反映した。

⑤ その他

基礎研修、更新研修、フォローアップ研修事業の受託者がオブザーバーとして検討会に出席。研修の実施状況等について報告するとともに、検討会での検討結果を踏まえて研修を実施した。

東京都のサービス提供事業所において 障害児者の豊かな生活の実現に向けて取り組む現場のリーダー※の姿 Ver.3

※法制度上の名称は「サービス管理責任者」「児童発達支援管理責任者」という

基本姿勢 真摯に人と向き合うことができる

- 利用者主体** 利用者の意思の尊重と意思決定支援の視点を持つ
- 地域生活支援** 利用者の幸せのため、望む地域で生きていくことをサポートする
- 権利擁護** 内在する能力や可能性を信じ、発揮することを支え、個人として尊重する視点を持つ
- 組織のリーダー** 現場のリーダーとして、支援の向上に向けて、組織として取り組む軸となる
- 連携** 広い見識を持ち、地域の様々な人や資源をつなげて、地域社会を作る

持つべき力

- ・利用者のことをわがことのようにとらえる共感力
- ・利用者とその家族、職員、関係機関と信頼関係を築く力
- ・現状や変化をアセスメントする（見立てる）力
- ・必要な手立てを組み立てて実行する力
- ・個別支援計画を中心に、各職員の役割やチームアプローチを向上する力
- ・様々な環境と地域の力をアレンジして、支援の仕組みを構築する力

共通の知識

- ・東京における障害福祉の歴史と、最新の制度に関する知識
- ・職員を育てるための知識、OJTに関する知識
- ・障害特性の理解
- ・権利擁護、虐待防止、意思決定支援の知識
- ・職員をまとめるための知識
- ・各種機関の役割に関する知識
- ・制度や会計及びコンプライアンスに関する知識

領域別の知識 子どもの発達等

更新研修 『現場のリーダーとして、利用者が地域で生きることを支える』

- ① 視野を広げ、大きく変化する福祉施策の動向や環境を理解する
- ② 利用者が望む暮らし・安心できる暮らしを実現するために、関係機関との連携を振り返り、地域事業所としての取り組みを考える
- ③ 経験を振り返り、指導者として次のリーダーを育てる

実践研修『支援の質を向上できる』 ※令和3年度より実施

- ① プロセス管理
- ② チームマネジメント
- ③ 地域や関係機関との連携
- ④ リスクマネジメント

基礎研修『利用者の幸せのために寄り添う』

- ① 個別支援計画作成の必要性を理解し、作成スキルを身につける
- ② プロセス管理の必要性を理解する
- ③ サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者の業務について全体像を掴む

演習指導者養成研修

- ① 研修や業務に役立つファンリテーション技術を学ぶ
- ② 他事業所のサビ管児発管とつながることで自身を振り返る

フォローアップ研修 分野別・事業別研修等

自己研鑽 OJT・Off-JT

今後に向けての取り組み

研修名	短期（次年度）	長期
基礎	研修内容の検証とブラッシュアップを行う 研修の事前説明会で講師に演習のポイントを伝える	実践研修受講者に基礎研修の内容についてアンケートを実施し検証する
実践	国指導者養成研修に参加し、情報を収集する 令和3年度の実施に向けて検討する。研修の全体像がわかる企画案、各科目に対応する企画案の作成	着実にサービス管理責任者・児童発達支援管理責任者の実務を担える人材を育成するための研修を継続する
更新	研修内容の検証とブラッシュアップを行う 研修の事前説明会で講師に演習のポイントを伝える	スーパーバイズを含む国研修の内容を取り入れ、13時間の全カリキュラムに対応する 更新研修の複数回受講者に向けた研修内容を検討する
指導者養成	研修内容の検証とブラッシュアップを行う 新たに60名の講師を養成する	講師の人材を増やす 「現場のリーダー」を支えるネットワークを作る 講師の燃え尽きや離脱を防ぐ
フォローアップ（児童）	令和元年度のプログラムを再検討する	必要な知識や情報を発信し続けるために、時代の変化をキャッチし、研修テーマを提案する